

行政 トピックス



トップアスリートから学ぶ

—平成23年度スポーツ選手活用—

—体力向上事業—

文部科学省・公益財団法人日本体育協会「子どもの体力向上啓発事業」の一環として、平成23年度スポーツ選手活用体力向上事業を実施。トップアスリートの実技指導や講話などを通して、スポーツの楽しさに触れ、自らスポーツをやってみようとするきっかけを作



▲タグラグビーの試合（西本梅小）



▲池田広美さんから実技指導を受ける児童（胡麻郷小）

り、体力向上への意欲を高めるために、西本梅小学校、胡麻郷小学校の2校で行いました。7月1日には西本梅小学校で、講師に「神戸製鋼ラグビー部」の大八木淳史さんを招き、「スポーツそしてラグビーの楽しさ」と題した講話と、タグラグビーの実技指導、ゲームが行われました。タグラグビーは、子どもや女性にもなじみやすいラグビーで、タックルの代わりに腰に巻いたタグを取るというルールが大きな特徴です。また、7月14日には、胡麻郷小学校で池田広美さんを招き、バレーボール教室を開催。子どもたちは、モンストリアルオリンピックの金メダリストから指導を受け、熱心に取り組みました。

身近な自然を五感で感じる

—八木公民館講座—

「水辺の観察会第1～3回」

7月3日、自然環境の大切さを学び、ふるさとへの関心を高めるために、水辺の観察会を開催。第1回は、八木町西田の用水路で捕獲調査を行いました。また、7月17日の第2回・学習会（八木公民館）では、捕獲したスジシマドジョウなどの希少種をはじめ、魚の種類や特徴などを学びました。第3回では、滋賀県立琵琶湖博物館の見学も行い、参加した18人の子どもたちにとって自然を体で感じ、学ぶ機会となりました。



▲八木町西田での捕獲作業の様子



▲作品づくりに集中する参加者たち

集まれ！チャレンジキッズ

—国民文化祭100日前イベント—

7月23日、南丹市国際交流会館で、国民文化祭100日前イベント「なんたんものづくり体験村」をつくるって、おもしろい！！を開催。地域の工芸家やものづくりに携わる団体が虫かごや木のおもちゃづくりを指導し、ものづくりの楽しさを伝えました。また、園部町にある聖カタリナ高校や京都府立農芸高校もそれぞれ「食」、「ものづくり」のコーナーに参加し、子どもたちに丁寧な指導。会場は、終始作品づくりに打ち込む子どもたちでいっぱいでした。